

平成25年度環境省委託事業

平成25年度家庭エコ診断推進基盤整備事業に係る
地域別家庭エコ診断試行実施業務
(宮城県)
報告書

平成26年2月

公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

目 次

1	業務の目的	1
2	診断実施事務局業務	1
2.1	各種団体や地域協議会等との連携体制の整備・運営	1
(1)	連携体制について	1
(2)	受診希望者の確保および拡充	2
①	チラシの作成	2
②	みやぎ生協との連携	3
③	自治体との連携	3
④	イベント等での事業紹介	4
⑤	ウェブ、ブログでの事業紹介	5
⑥	マスコミリリース	6
⑦	情報紙による広報	6
⑧	メールマガジンによる広報	7
⑨	受診者募集総括	7
(3)	連携先との調整会議等の開催	7
2.2	診断実施体制の整備	7
2.3	診断員の募集および支援	8
(1)	診断員の募集	8
(2)	診断員の支援	9
2.4	うちエコ診断の実施	9
2.5	診断効果の取りまとめ	11
(1)	受診家庭における CO ₂ みなし排出削減量	11
(2)	本事業の評価	12
2.6	調査・検証および課題等の取りまとめ	14
(1)	連携先(みやぎ生協)に対するヒアリングの結果	14
(2)	各種団体や地域協議会等との連携による実施スキームの課題と改善案	14

1 業務の目的

我が国の CO₂ 排出量のうち、家庭部門では 2011 年、1990 年比で約 5 割増加しており、従来の日々の取組を中心とした対策を超えて、家庭における全ての排出源で抜本的な対策が必要である。従来の普及啓発を中心とした施策によって、温暖化に対する意識は向上しているものの、実際の削減行動には十分に結びついておらず、国民の意識の向上を実際の行動に移すためには、各家庭の排出状況に応じた、きめ細やかなアドバイスが求められる。

以上のことから、家庭部門でのゼロエミッション化を進めるため、各家庭のあらゆる要望に応える総合サービスを提供する家庭エコ診断制度を平成 26 年度に創設することを目的とし、家庭エコ診断推進基盤整備事業（以下、「本事業」という）の中で各種団体や地域協議会等との連携による実施スキームの家庭エコ診断（以下、通称「うちエコ診断」という。）の業務の試行を行う。

2 診断実施事務局業務

2.1 各種団体や地域協議会等との連携体制の整備・運営

地域協議会等との連携による実施として、みやぎ生活協同組合（以下、「みやぎ生協」という）と連携した診断実施体制で行った。今年度の実施内容については下記のとおりである。

【実施内容】

- 受診希望者の確保と拡充
- 診断実施体制の整備
- 個人情報の保護、消費者トラブル防止と苦情受付窓口の設置と周知ならびに苦情対応
- うちエコ診断員の支援

(1) 連携体制について

うちエコ診断のさらなる普及を目指し、宮城県内に約 60 万人の組合員を保有し、組合員の活動も活発なみやぎ生協と連携し、組合員向けの集会でのうちエコ診断の広報や宮城県内の 46 店舗へのチラシ配布のほか、職員に対する広報も実施した。なお、宮城県においては連携先はみやぎ生協のみであることから、協議会という形はとっていない。

うちエコ診断業務において受診家庭等から提供された個人情報は適切に利用および管理した。また、うちエコ診断に関する問い合わせや苦情については窓口を設置し、受付体制を整備した。具体的な管理方法や受付体制については下記の内容に則り厳正に実施した。

- ①うちエコ診断業務における個人情報の利用目的を明確にし、目的以外に利用しない。
- ②個人情報の取り扱い(図 1)は申込書にて通知し、本人から直接取得する。(同意も同時に取得)
- ③取得した個人情報は、受診者 ID により、各データの関連付けを行い、修正等の対応を容易に実施する。
- ④取得した個人情報が外部に漏れないよう、ファイルのパスワード付圧縮化を徹底し、業務 PC と利用者をうちエコ診断業務に従事するスタッフのみに限定する。
- ⑤取得した個人情報の第三者提供は原則禁止とする。ただし、個人を特定できない形式での公表を同意取得時に通知する。
- ⑥個人情報の提供者本人などから、自己の個人情報の開示・訂正・利用停止を求められた場合は、迅速に対応する。
- ⑦受診家庭からの問い合わせや苦情に対する窓口を宮城県地域事務局に設置し、早急かつ適切な

対応を取るとともに、うちエコ診断総合事務局へ早急に報告を行う。(問い合わせ・苦情の窓口担当者：岸)

⑧受診家庭からの問い合わせや苦情に対する窓口の情報は、チラシ(図2)や宮城県地域事務局ウェブサイトに記載するとともに、必要に応じて診断時に受診者に伝える。

■「うちエコ診断事業に関する注意事項について」

①本事業における個人情報の取り扱いについて
うちエコ診断に関わる事務局及び診断員は、本事業で収集するすべての個人情報の取り扱いにあたっては、個人情報の保護に関する法令を遵守し、以下に掲げる目的のみに使用いたします。また、収集した個人情報を本事業の業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。

- (1) うちエコ診断実施に伴う連絡調整業務
- (2) うちエコ診断の事前調査業務
- (3) うちエコ診断の診断実施業務
- (4) うちエコ診断の事後調査業務
- (5) うちエコ診断結果及び効果検証のための各種データ分析業務

なお、本事業の性格上、分析結果を公表するなど、外部公開する場合には、個人を特定できない匿名措置を施した上で公開するものとします。

②特定商品等の紹介について

うちエコ診断では、特定商品の紹介等は行いません。ただし、受診される方からの依頼があった場合に限り、紹介等を行っていただくことがあります。

図1 個人情報の取り扱い掲載例

お申込・お問い合わせは…

うちエコ診断 地域事務局まで

■宮城県地域事務局
公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
ストップ温暖化センターみやぎ

〒981-0933
仙台市青葉区柏木1-2-45フォレスト仙台5F
TEL 022-301-9145
FAX 022-219-5710
E-mail stop_gw@miyagi.jp



図2 チラシへの問い合わせ窓口掲載例

(2) 受診希望者の確保および拡充

連携先、自治体、地域イベント等と協力し、うちエコ診断の広報および受診者募集を行った。

① チラシの作成

うちエコ診断総合事務局より提供された受診者募集のチラシを基に、宮城県地域事務局の連絡先等を追記した宮城県版チラシを2000部作成した。



チラシ表面



チラシ裏面

② みやぎ生協との連携

(1)みやぎ生協店舗、組合員、職員、家計モニター等への広報

宮城県内の46店舗へチラシ配布を行うとともに掲示板へのチラシ掲示を依頼し、組合員および買い物客への受診者募集を行った。また、みやぎ生協職員や家計モニター(注1)へチラシ配布を行い、受診者募集を行った。

(注1)家計モニター

家計モニターは、「生協の家計簿」をつけて提出し、宮城県生協連の家計簿の集計活動に協力します。2012年のモニターは241名です。(みやぎ生協HPより抜粋)

(2)うちエコ診断員の講師派遣

みやぎ生協が主催する組合員向けの冬の省エネ学習会へ、うちエコ診断員を講師として派遣し、家庭向け冬の省エネ対策のお話しをするとともに、うちエコ診断の紹介および受診者募集を行った。実施日程等について、以下の表に示す。

日時	会場	講師	参加人数
10/29(火)11:00～12:00	みやぎ生協岩切店集会室	大友浩一氏(元うちエコ診断員)	18名
10/30(水)10:00～12:00	みやぎ生協西多賀店集会室	佐藤郁子氏(今年度うちエコ診断員)	30名
11/11(月)11:00～12:00	みやぎ生協加賀野店集会室	大友浩一氏(元うちエコ診断員)	40名
11/11(月)11:00～12:00	みやぎ生協大河原店集会室	岸恵理(宮城県地域事務局員)	15名



11月11日大河原店での学習会の様子

(3)みやぎ生協環境研究会

みやぎ生協組合員がメンバーとなっている環境研究会の集会在8月6日(火)10:00～12:00に開催され、昨年度の結果を基にしたうちエコ診断の成果について紹介するとともに、今年度の受診者募集を呼びかけた。(参加者10名)

③ 自治体との連携

(1)大河原町の協力により、8月1日(木)発行の「広報おおがわら おしらせばん」(図3)に受診申込受付中のお知らせを掲載いただき、広く町民に対して受診者の募集を行った。また、大河原町からの依頼により、10月20日(日)開催のおおがわらオータムフェスティバルにてうちエコ診断のブース出展を出展し、受診者募集および会場診断を実施した。なお、大河原町から

の提供により、当日受診者へ景品として LED 電球を配布した。

(2)仙台市の協力により、仙台市が展開する「せんだい E-Action 伊達な節電所キャンペーン冬の陣」と連携した(図 4)。仙台市に会場診断の会場を準備いただき、計 3 回(12 月 1 日(日)環境フォーラムせんだい 2013、12 月 12 日(木)～13 日(金)アリオ仙台泉)の会場診断を実施した。また、仙台市からの提供により、受診者への景品としてステンレス製マイボトルを配布した。

**うちエコ診断
申込受付中**

環境省では、身近な地球温暖化対策を推進するため、家庭向けのエコ診断を行っています。

この「うちエコ診断」は、環境省の委託事業として、家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに各家庭のライフスタイルに合わせて無理なくできる省CO2・省エネ対策を提案するものです。

診断期間 平成25年12月末まで
対象 県内在住の省エネに取り組む意欲をお持ちのかた
募集定員 50人 診断料 無料
申込先 ストップ温暖化センターみやぎ(公益財団法人みやぎ・環境と暮らし・ネットワーク内)
☎022-301-9145
☎022-219-5710
e-mail stop_gw@miyagi.jp
問合せ先 町民生活課環境政策係
☎53-2114(内線128)

図 3 広報おおがわら掲載例

2 「うちエコ診断」受診会の開催について

(公財)みやぎ・環境と暮らし・ネットワーク(MELON)により「うちエコ診断」受診会(無料)を開催します。受診者には、記念品を贈呈します。

(1)開催日時および会場
・12月1日(日曜日)10時から16時
せんだいメディアテーク(青葉区春日町2-1)にて開催されるイベント「環境フォーラムせんだい2013」内 ストップ温暖化センターみやぎブース
※受診の所要時間は、約10分です。

・12月12日(木曜日)、13日(金曜日)10時から16時
アリオ仙台泉 1階センターコート(泉区泉中央1-5-1)
※受診の所要時間は、約10分です。

・12月2日(月曜日)～12月27日(金曜日)まで(平日限定)
MELONオフィス(青葉区柏木1-2-45フォレスト 仙台5階)
※受診の所要時間は、約30分から約40分です。
※MELONオフィスは、申し込みが必要です。(電話022-301-9145)

尚、受診される際は、事前におよその光熱費を把握いただく、より効果的な診断が行えます。

(2)内容
・専用ソフトを用いて、各家庭の年間エネルギー使用量や光熱費、CO2排出量を分かりやすく解説します。
・ライフスタイルに合わせて無理なくできる省エネ対策をご提案します。



記念品ステンレス製マイボトル(いずれか一つ)

図 4 「せんだい E-Action 伊達な節電所キャンペーン冬の陣」web サイトへの掲載例



10/20 おおがわらオータムフェスティバル



12/1 環境フォーラムせんだい 2013



12/12-13 アリオ仙台泉

④ イベント等での事業紹介

地域イベント等でブース出展を行い、うちエコ診断の広報および受診者募集、簡易診断(10分程度)、診断(40～50分程度)を実施した。開催内訳および申込者数を以下表に示す。

	日時	内訳	件数
1	9/22 (日)	しちがはま環境フェスタ	8 件
2	10/6 (日)	りふ環境まるごとフェア	7 件
3	10/20 (日)	おおがわらオータムフェスティバル	9 件

4	10/24-26 (木-土)	エコプロダクツ東北 2013	1 件
5	10/27 (日)	Wa!わあ祭り	3 件
6	11/10 (日)	冬のぬっくぬく生活情報室	1 件
7	12/1 (日)	環境フォーラムせんだい 2013	9 件
8	12/12-13 (木金)	アリオ仙台泉	2 件

⑤ ウェブ、ブログでの事業紹介

当法人のウェブサイトにてうちエコ診断のページ(図 5)を作成し、うちエコ診断の広報および受診募集を行った。また、当法人のブログにて、診断の様子等を掲載(図 6)し、受診者の募集を行った。



URL :
http://www.melon.or.jp/melon/contents/Global_Warming/uchieko/uchieko_index.html

図 5 うちエコ診断ウェブページ例



URL :
<http://blog.canpan.info/stopgwm/>

図 6 ブログでの診断の様子紹介例

⑥ マスコミリリース

受診者募集概要と、チラシを宮城県内の報道関係者に FAX で送付したほか、メディアへの直接のうちエコ診断の紹介を行った。その結果、以下メディアに取り上げられた。

	日付	局	番組名	内容
1	9/2 (月)	NHK	てれまさむね	うちエコ診断員菅野喜美恵氏が実施した訪問診断の取材
2	11/28 (木)	ミヤギテレビ	夕方の県内ニュース	うちエコ診断員佐藤郁子氏による冬の省エネ対策の紹介



11/28 ミヤギテレビの放送例

⑦ 情報紙による広報

当法人情報紙「MELON 情報紙 104 号」(2013 年 9 月発行)に、以下受診者募集のお知らせを掲載し、当法人会員約 1000 名に送付した。

**光熱費削減・ライフスタイルの
見直しに ～うちエコ診断実施中～**

うちエコ診断では、診断員が専用のソフトを使用して、ご家庭のエネルギーの使い方を分析し、ライフスタイルに合わせた省エネ対策をアドバイスします。

「省エネしたいけど何をすればよいの?」「自宅のエコ度を知りたい」「光熱費もっと安くしたい」といった疑問や要望にお答えします!

実施期間は2013年6月～12月末、お申込み・お問い合わせはストップ温暖化センターみやぎまでご連絡ください。

※ウェブ申込がカンタンです
<https://uchieco-shindan.go.jp/2013/touroku/>



MELON 情報紙への掲載例

⑧ メールマガジンによる広報

当法人の会員等向けメールマガジン「MELON メールニュース」Vol.120(7月11日発行)、Vol.122(9月12日発行)にて、受診者募集の案内を配信した。

⑨ 受診者募集総括

今年度の受診者募集の特徴として、自治体や団体からの依頼によりうちエコ診断のブース出展や会場診断を実施する機会が増えたことである。③の自治体との連携に記載したとおり大河原町や仙台市からの依頼があったほか、④イベント等での事業紹介の開催内訳にある10月27日(日)のWa!わぁ祭りおよび11月10日(日)の冬のぬつくぬく生活情報室は、あいコープみやぎからの依頼によりうちエコ診断のブースを出展した。また、自治体から受診者への景品を提供いただいたことも、宮城県でうちエコ診断開始以降初めてのことであったが、特に仙台市環境都市推進課提供のステンレスボトルが景品となった会場診断では受診時間40分という条件にも関わらず受診希望者が殺到し、受診意欲の向上に大きく寄与することが分かった。このような外部からの依頼が増えた要因として、過去3年間継続して自治体や身近な団体に対する広報活動を続けてきたことや、自治体職員や団体職員にまず受診してもらい、うちエコ診断の効果を実感してもらったことで、うちエコ診断の認知度が向上してきたことだと思われる。

(3) 連携先との調整会議等の開催

本事業において、連携先であるみやぎ生協のほか、自治体その他団体の連携を図り診断を実施するため、ストップ温暖化センターみやぎ運営委員会にて、うちエコ診断の進捗状況の報告および受診者拡充の話し合いをする場を設けた。

会議名：平成25年度ストップ温暖化センターみやぎ運営委員会

開催日：平成25年6月19日(水)、8月21日(水)、10月23日(水)、12月18日(水)の計4回

構成員：みやぎ生協、宮城県、仙台市、東北大学教授、宮城県地球温暖化防止活動推進員、企業、NPO団体、個人等18名

議事概要：受診者募集や診断実施状況の共有、今後の広報先についての意見交換

2.2 診断実施体制の整備

本年度事業において、受診者への多様な診断方法を提供するため以下の実施体制を整備した。受診受付および受診者との日程調整等の連絡は、全て宮城県地域事務局が行い、受診者とうちエコ診断員が直接やり取りすることはない。また、苦情問い合わせ窓口を宮城県地域事務局に設けたが、うちエコ診断に関する苦情や消費者問題等のトラブルは発生していない。

区分	診断概要
窓口診断	宮城県地域事務局(仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F)にて診断を行う。受診者とは事前に日程調整を行い、診断当日に事務局にお越しいただき診断を行う。
会場診断	地域イベントへのブース出展や、店舗の一角を借り、診断を実施する。開催前に広報をして事前申し込みも受け付けるが、主には当日来場者をメインに診断を実施する。通常診断(40~60分)のほか、簡易診断(10分)も行う。簡易診断受診者へは通常診断の受診を促す。

団体診断	団体や企業の職員同士やサークルや近所の仲間同士など、複数名以上で申込を受け付けて診断を行う。診断会場は、申込者に準備いただく。受診者多数の場合は、複数名のうちエコ診断員体制で数日に分けて実施する場合もある。
訪問診断	うちエコ診断員が受診者の自宅を訪問し、診断を実施する。

2.3 診断員の募集および支援

本事業を円滑に遂行するため、うちエコ診断員の確保および支援をおこなった。

(1) 診断員の募集

①フォローアップ研修会

昨年度うちエコ診断員 11 名のうち、フォローアップ研修参加資格のある 10 名に対し研修を案内し、希望のあった 8 名を推薦した。

(1 名は昨年度診断件数が 0 件だったことや、本年度も診断にかかる時間の調整が難しいことから、フォローアップ研修会参加資格の対象から除外した)

北海道・東北地区 フォローアップ研修会 概要	
日時	5 月 17 日(金)13:00～16:30
場所	TKP 仙台カンファレンスセンター (仙台市青葉区花京院)
主催	うちエコ診断員認定事務局 (一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット)
内容	(1)家庭における地球温暖化対策の最新技術・動向について (2)家庭エコ診断事業の成果と今後について (3)平成 24 年度事業に係る“不適切な診断”事案について (4)平成 25 年度の実施方法について (5)確認テスト
診断員	参加した 8 名全員が認定された。 (うち 1 名は、5 月 27 日(月)に開催された関東地区の研修会へ参加した)

②新規養成研修会

本年度の宮城県における診断目標件数を 50 件としたため、診断員数は昨年度からの継続診断員のみで足りると判断し、新規診断員の募集は実施していない。

以上①②より、本年度のうちエコ診断員登録者を以下の表に示す。

	氏名	所属	診断員歴
1	川村 真貴	宮城県地球温暖化防止活動推進員	平成 24 年度、23 年度、22 年度
2	菅野 喜美恵	宮城県地球温暖化防止活動推進員	平成 24 年度、23 年度、22 年度
3	岸 恵理	宮城県地域事務局スタッフ	平成 24 年度
4	佐藤 郁子	宮城県地球温暖化防止活動推進員	平成 24 年度、23 年度
5	菅山 洋子	みちのく EMS 評価員	平成 24 年度、23 年度
6	高澤 廣人	宮城県地球温暖化防止活動推進員	平成 24 年度、23 年度、22 年度
7	千葉 智恵	宮城県地球温暖化防止活動推進員	平成 24 年度
8	塚崎 隆夫	宮城県地球温暖化防止活動推進員	平成 24 年度、23 年度

(2) 診断員の支援

①宮城県うちエコ診断員説明会の開催

宮城県内でうちエコ診断を実施するにあたり、昨年度の実施報告、本年度の診断プロセス、交通費・謝金の支払い等について説明会を実施した。

平成 25 年度宮城県うちエコ診断員説明会 概要	
日時	7月18日(木)14:00～16:00
場所	フォレスト仙台 5F MELON 事務局 (仙台市青葉区柏木)
主催	宮城県地域事務局 (公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク)
内容	(1)平成 24 年度事業報告 (2)平成 25 年度診断プロセス (3)交通費・謝金について (4)質疑応答・意見交換
診断員	参加 5 名、欠席 3 名

②メーリングリスト

うちエコ診断員全 8 名がメンバーとなったメーリングリストを作成し、宮城県地域事務局からの会場診断の案内、省エネ情報、その他事業実施状況に関する情報発信のほか、診断員同士の情報交換の場として活用した。

③パンフレット等の配布、備品の貸出

省エネ性能カタログ等の省エネに関するパンフレットの配布や、レーザー温度計、節水シャワーヘッド、ノートパソコン、モバイルプリンター等診断に必要な備品の貸出を行った。また、うちエコ診断員用の名刺を作成し配布した。



7/18 説明会の様子



節水シャワーヘッド活用例

2.4 うちエコ診断の実施

本年度業務におけるうちエコ診断の概要を表 1、月別の実施状況を表 2-1、2-2、診断区分の内訳を表 3 に示す。

受診申込期間	6月17日(月)～12月31日(火)
診断期間	6月17日(月)～12月31日(火)
目標件数	50件
実施件数	55件

表 1 うちエコ診断の概要

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	達成率
申込件数	0	0	8	10	24	2	12	56	112.0%
実施件数	0	0	3	14	24	2	12	55	110.0%
実施内訳	窓口		2	1	4		1	8	14.5%
	会場				8	20	11	39	70.9%
	集団							0	0%
	訪問			1	5		2	8	14.53%

表 2-1 月別の実施状況

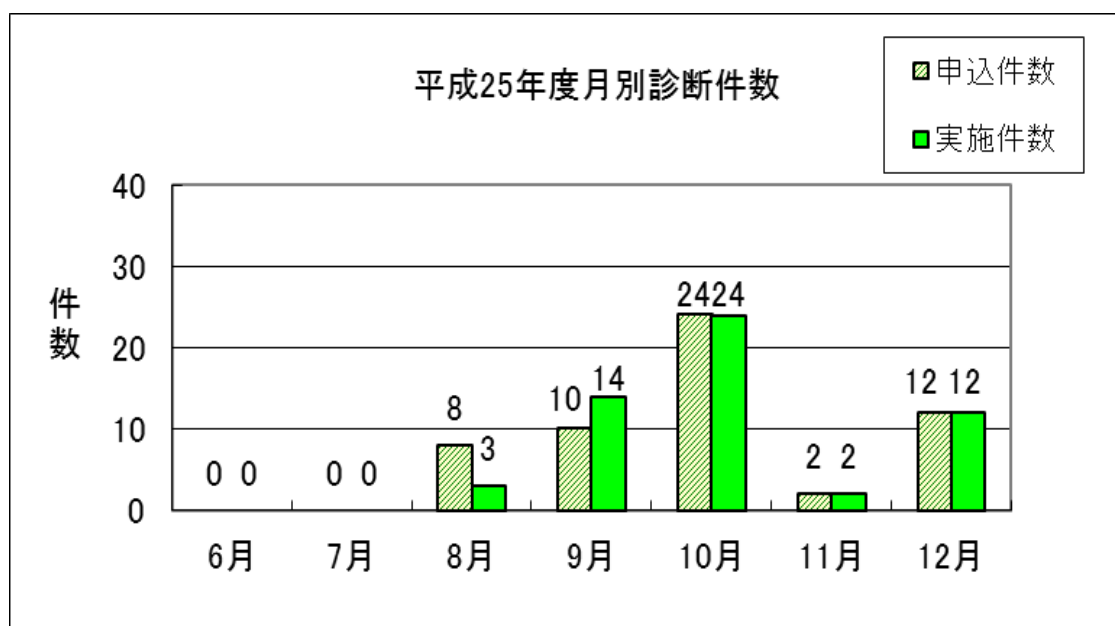


表 2-2 月別の実施状況

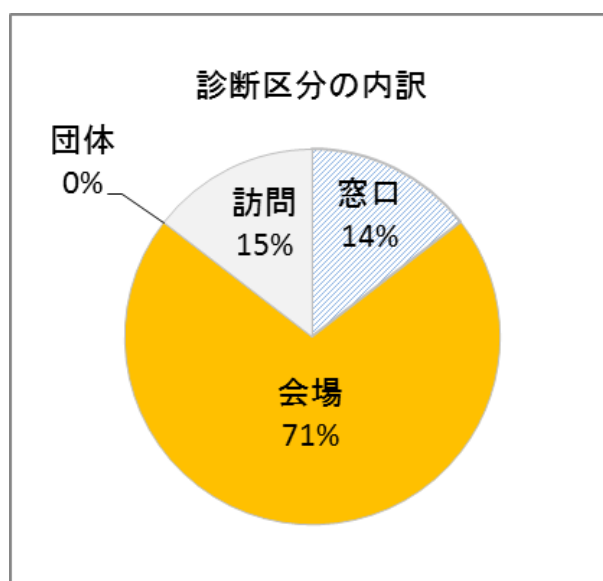


表 3 診断区分の内訳

2.5 診断効果の取りまとめ

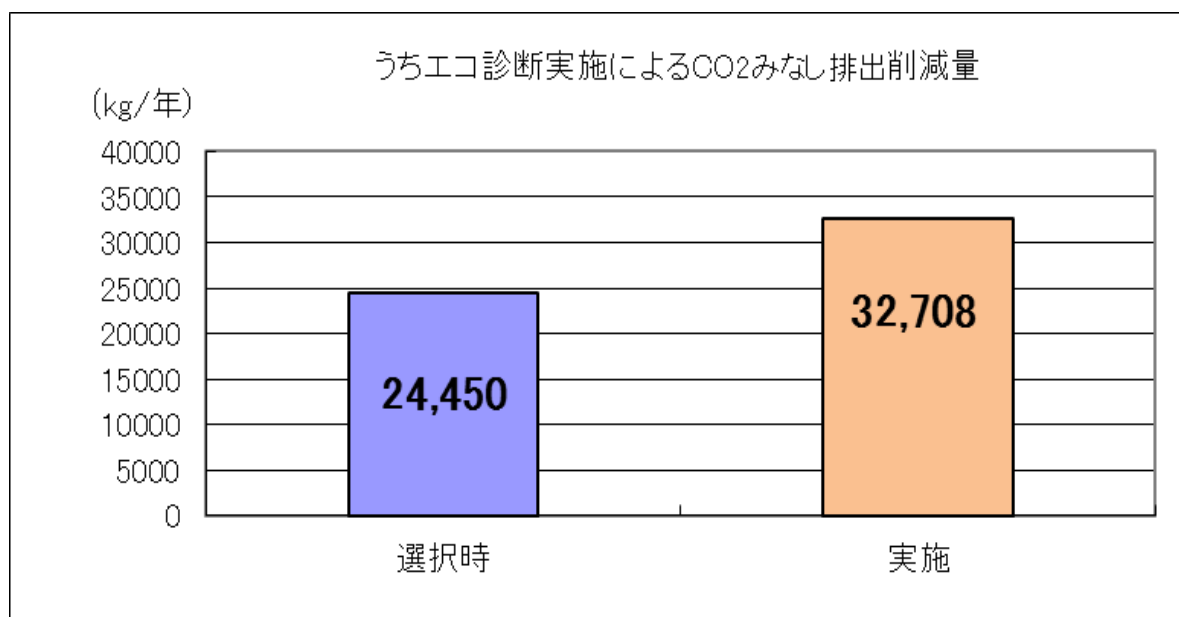
うちエコ診断実施による効果を把握するため、受診後約3か月後に事後調査票を発送(webの場合は自動送信)し、CO₂みなし排出削減量および、本事業の評価を行った。

(1) 受診家庭におけるCO₂みなし排出削減量

受診家庭のCO₂排出削減量について、評価ツールを用いて算出した。受診者が診断時に選択した対策を実行した場合に見込まれる受診世帯のCO₂みなし排出削減量(選択時CO₂みなし削減量)と事後調査の結果により見込まれる受診世帯のCO₂みなし排出削減量(実施CO₂みなし削減量)の結果を以下に示す。

回答者 21名/受診者 55名(回答率 38.2%)

	受診世帯のCO ₂ みなし排出削減量(kg/年)
選択時	24,450
実施	32,708



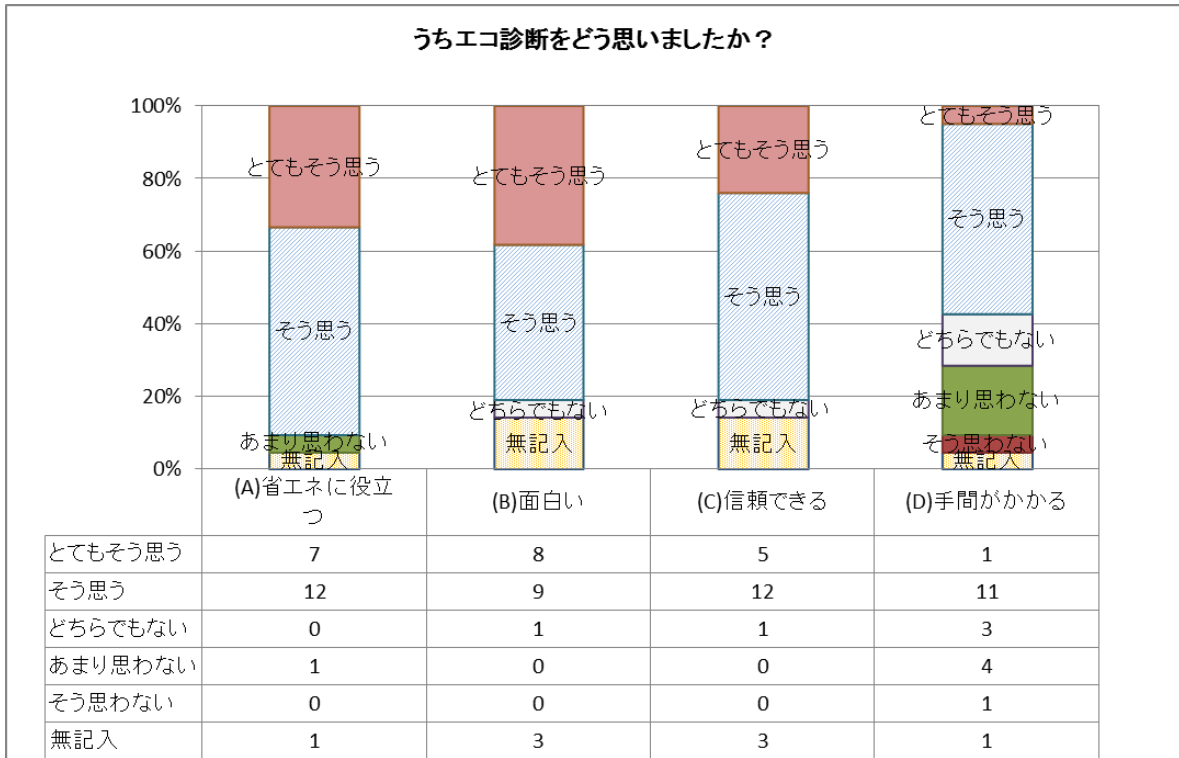
宮城県におけるうちエコ診断受診世帯のCO₂みなし削減量 (n=21)

考察

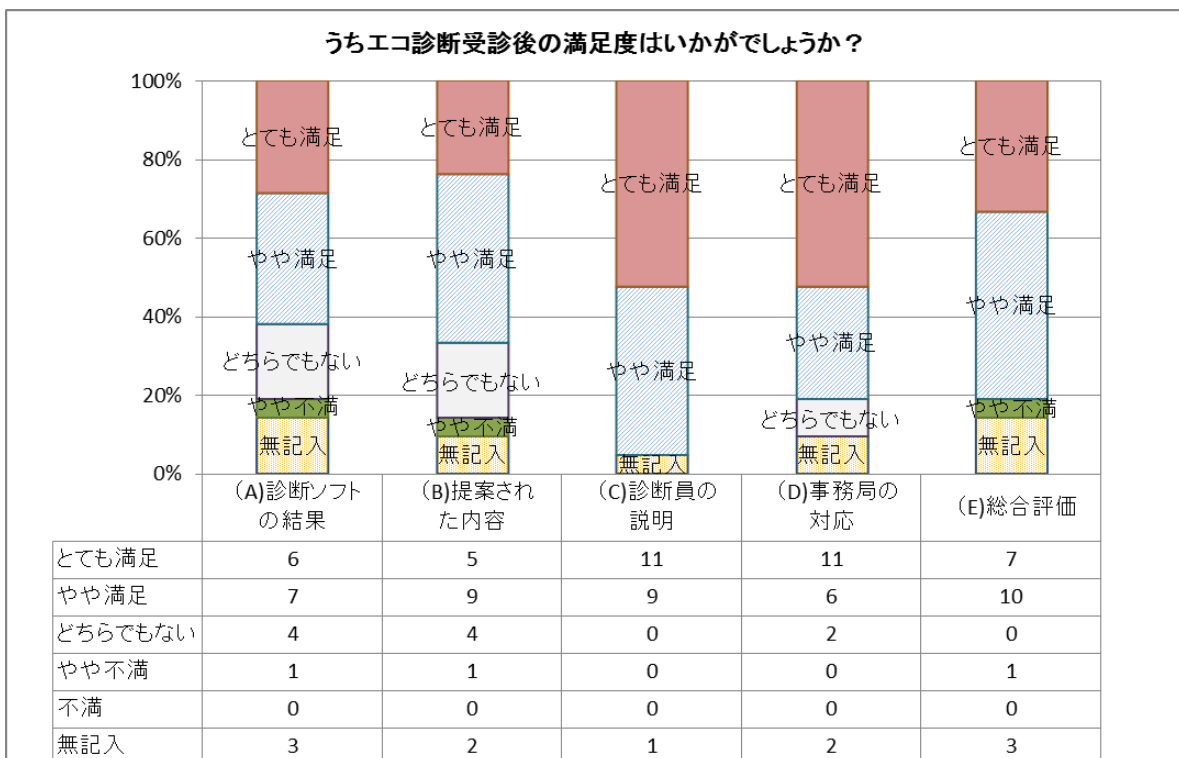
選択時より実施のCO₂排出削減量の方が、25%増加する結果となった。この要因として、事後調査票では、診断時に選択いただいた対策以外にも、効果のあると思われる対策も掲載しているため、診断時に選択した対策以外にも「実行した」と回答いただいた項目が多数あったためである。特に、ライフスタイルの対策に関する項目の回答数が多い傾向が見られた。うちエコ診断の受診により、家庭で取り組める効果的な対策を知り、省エネに関する関心が高まったことで、実行する対策も増えたものと考えられる。

(2) 本事業の評価

①診断で提案させていただいた対策に取り組まれたことで、うちエコ診断をどう思いましたか？

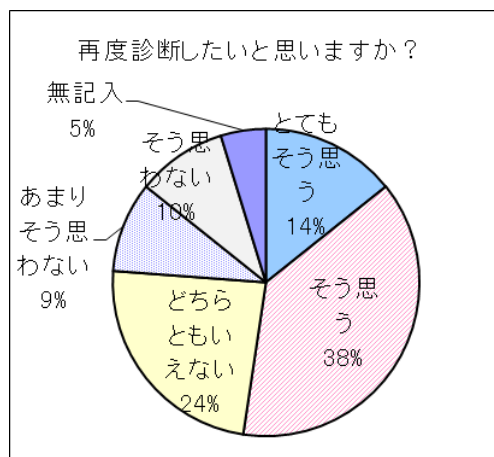


②うちエコ診断受診後の満足度はいかがでしょうか？



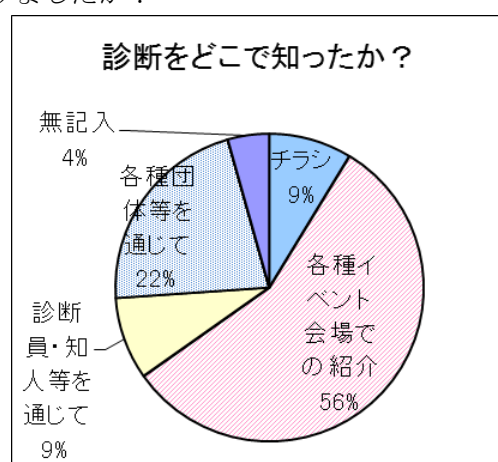
③うちエコ診断を再度受診したいと思いますか？

	項目	人数
1	とても思う	3
2	そう思う	8
3	どちらともいえない	5
4	あまりそう思わない	2
5	そう思わない	2
6	無記入	1
	合計	21



④今回受診するにあたって、うちエコ診断をどこで知りましたか？

	項目	人数
1	チラシ	2
2	各種イベント会場での紹介	13
3	診断員・知人等を通じて	2
4	各種団体等を通じて	5
5	うちエコ診断コマーシャル動画	0
6	WEB サイト	0
7	SNS	0
8	その他	0
9	無記入	1
	合計	23



(複数回答あり)

⑤診断に対する意見等

(原文)

- ・賃貸物件に住んでいる家庭用のものもあるといいですね。買い替えや付け替えをするのは容易ではないので。切手代 80 円ももったいないと思います。FAX ある人なら FAX で送信して切手代節約してもいいと思います。
- ・診断員の方がわざわざ遠いところお越しいただきありがとうございました。雑談を含めなごやかに対応いただき、改めて省エネ生活の大切さを実感しました。
- ・診断員さんの助言は、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・経済的な面もありますので、中々代替には時間がかかりますね。
- ・冬は電熱暖房機を使っていて、本格的に寒くなるまでの間の短期間居間のみエアコン又は電気ストーブを使っている。他の設備はオール電化にしたので一応手を加える予定は今のところありません。
- ・太陽光発電より太陽熱温水器を勧めたほうが太陽熱の利用として効率的では？
- ・なかなか難しいこと。でも少しずつ考えております。
- ・診断員のアドバイスのおかげで、FF 石油ストーブをエコ型エアコンに 10 年すぎた冷蔵庫は今年 2 月ごろ処分して新型にすることにしました。いろいろありがとうございました。

2.6 調査・検証および課題等の取りまとめ

(1) 連携先(みやぎ生協)に対するヒアリングの結果

広報については、事業の開始が4月以降となるため広報しづらいとの意見があった。みやぎ生協では3月中に次年度の予定が決まるため、学習会等の単発のイベントへの組み込みは可能であっても、夏季・冬季の省エネキャンペーン等と体系的に連携することが難しい。より効果的な連携をするには、3月中にうちエコ診断に関する事業内容を示すことが望まれる。

受診者募集については、うちエコ診断員が講師となった冬の省エネ学習会を実施することで、より具体的にうちエコ診断の紹介を行うことができ、参加者への認知度向上に繋がったと思われる。店舗掲示板へのチラシ掲載は各店長の判断に任されるため掲載されない店舗も多々あったようである。今後は本部からの通達を行うなど、より強いアプローチが必要である。今後の課題として、関心のある層には広報しつくしていることもあり、受診者の新規発掘が難しい。子育て層や福祉関係等、未発掘の新たな層へのアプローチを検討したい。

(2) 各種団体や地域協議会等との連携による実施スキームの課題と改善案

今年度は、連携先であるみやぎ生協との連携によってある程度の受診者募集への効果はあったものと思われる。また当初連携先として想定していなかった、仙台市や大河原町、あいコープみやぎなどとの連携が広報や診断実施に非常に効果があった。特にこれらの団体は相手からの依頼による連携だった点が、これまでのうちエコ診断を継続してきた成果の一つと言える。

今年度の診断区分内訳を見ると、会場診断が71%、訪問診断、窓口診断が各14.5%、団体診断が0%となっており、会場診断が大半を占めている。会場診断は、環境関連のイベントへの出展が多いことから来場者の省エネへの関心も高く、診断実施に至る場合が多かった。一方で、省エネへの関心の低い人にとっては、うちエコ診断の診断時間が大きなネックとなり、受診する意欲が高まらない場合も多々見られた。受診者の確保には、非常に苦勞しているのが現状である。

今後うちエコ診断を普及していくためには、既存の連携団体との連携強化とともに、新たな連携団体・自治体の発掘が重要である。また、省エネに対する関心の低い層へのアプローチが重要と考えられるが、そのために受診のハードルを下げることを検討いただきたい。たとえば、診断時間を5~10分程度に短縮することや、事前調査項目数を少なくする、ウェブ上で受診できるようにするなど考えられる。うちエコ診断のねらいである、診断員と受診者が対面してよりきめ細やかなアドバイスをすることも重要であるが、受診者のニーズにマッチした形に柔軟に改善していくことも必要だと思われる。

平成25年度 家庭エコ診断推進基盤整備事業に係る
地域別家庭エコ診断試行実施業務
(宮城県)
報告書

発行 平成26年2月

問合せ先 〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F

公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
TEL／022-301-9145 FAX／022-219-5710
E-mail／stop_gw@miyagi.jp
URL／http://www.melon.or.jp/melon/contents/Global_Warming/